



日 乗 連 ニ ュ ー ス

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2003.9.09

No. 2 6 - 9 7

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

JAS 乗組、JAL 水準賃金副操縦士受入れへ！

「2重賃金は反対」の方針を固持しつつ、

日航内組合と共闘しながら早期解決にあたる。

経緯 “ JAL の切り下げられた賃金水準でないといけない！ ”

2003年6月5日に会社から2重賃金（JALと同じ水準）での副操縦士要員採用の提案がありました。その後、JAS乗組では、採用がストップしており定期的な採用の要望があるなか、職場の意見収集を行い、執行委員会で議論したが結論が出ず、今期に繰り越しました。数回の団交のあと、「まずは採用を開始し、問題解決にあたる。」との苦渋の決議をして、今回の定期組合大会に提案することとなりました。

情勢の分析 “ 提案拒否すると今後の採用はない！ ”

JAS乗組では、「同一労働同一賃金」の原則をやぶる2重賃金の操縦士採用は反対です。しかしながら、今回の会社提案を拒否すると、会社は、「未来永劫採用はありえない。」「今後、JAL-INTERでの採用のみになるだろう」等との発言をし、問題点を議論してきました。例え、JAS乗組が、この提案を拒否しても、切り下げられた水準の操縦士が増加することになり、抜本的な問題解決にはなりません。また、「今後の継続的な事業規模を確保する採用数を明記せよ」との要求に対しても、「JALとの調整事項であり明記できない。」との発言でありました。これはもはや、JAL経営からの提案であり、JAS経営の範疇ではありません。この問題の根本的な解決には、単組内の運動では困難であり、日航内組合や日乗連レベルでの運動を進めていくことが必要な情勢であると分析しています。

なぜ協定を結ぶ？ “ 会社も採用したい。協定を守る。強行はしない。 ”

JAS乗組では、労働協約を締結しており、有効な賃金協定があるなかでは、「JAS経営は協定破棄や強行をすることはしない。」と明言しています。協定を結んでしまうと、今後の運動の足かせになるのではないか？との懸念がありますが、この協定を結ぶなかでの条件として「早急に、この問題解決にあたる運動を進める。」ことをJAS経営に伝えてあります。

採用にあたり回答を得たもの “ まず採用の再開、できれば多く！ ”

「継続した採用と機長養成をしていきたい。」という協定。訓練中の乗務手当をJAL水準に引き上げ。研修用寮の利用改善。他職務訓練のあり方や訓練に遅滞なく投入すること。等

今後の課題 “ 今回はやむを得ない。JAL内乗組と共闘を ”

JAS乗組は、「同一労働・同一賃金」の原則に基づき、日本航空乗員組合・機長組合を初めとする日航内組合と共闘し、日乗連内での乗員の賃金形態の統一にむけ運動を進めていく必要を求めています。

